

# アナジャコおよびアナジャコ巣穴内に生息する 小型生物の食性解析



清家弘治<sup>1</sup>・杉原奈央子<sup>2</sup>・高野剛史<sup>1</sup>・白井厚太郎<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京大学大気海洋研究所 海洋生態系動態部門 底生生物分野

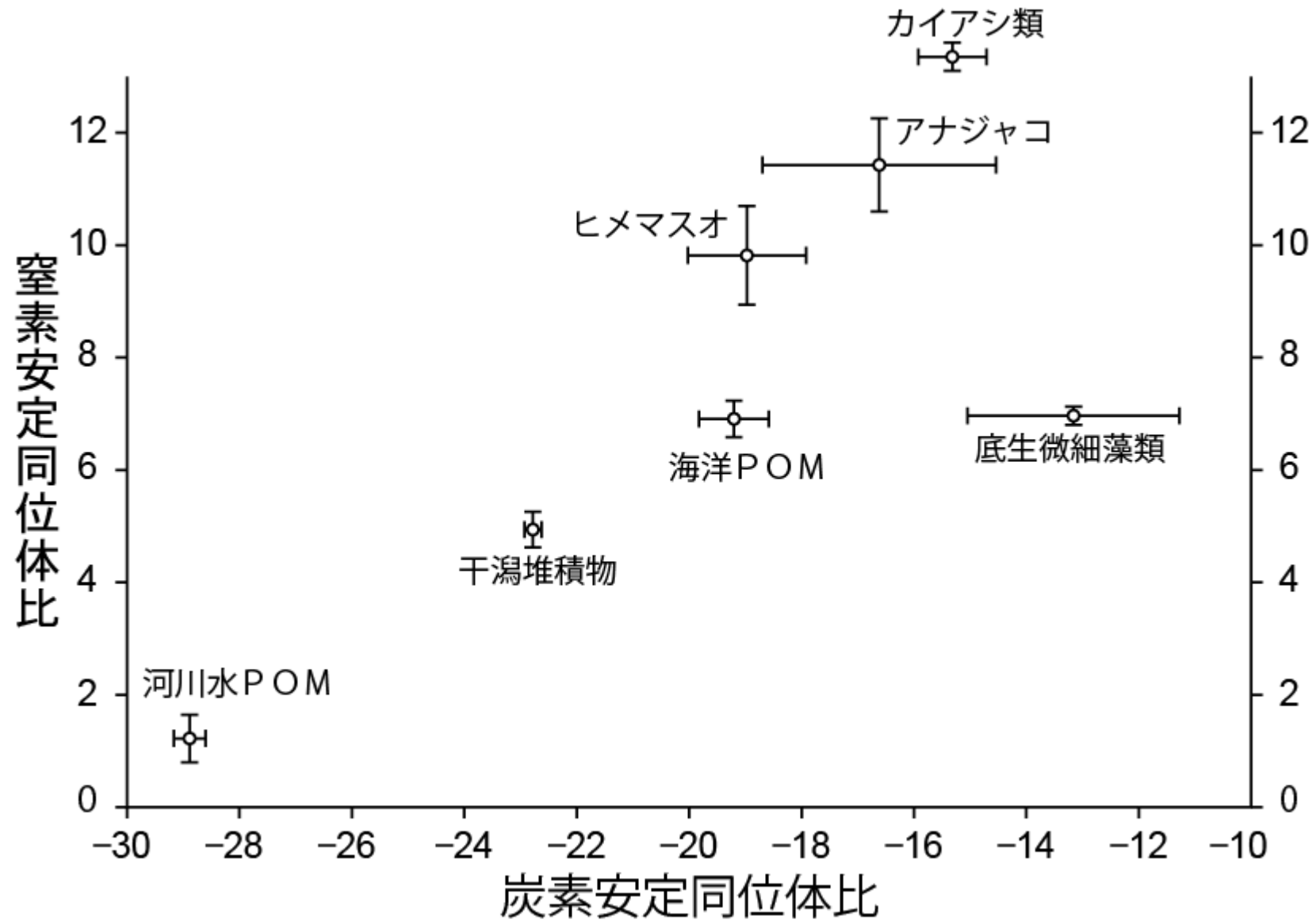
<sup>2</sup>東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター 沿岸生態分野

干潟のアナジャコの巣穴の中には、数種類の生物がすんでいる。



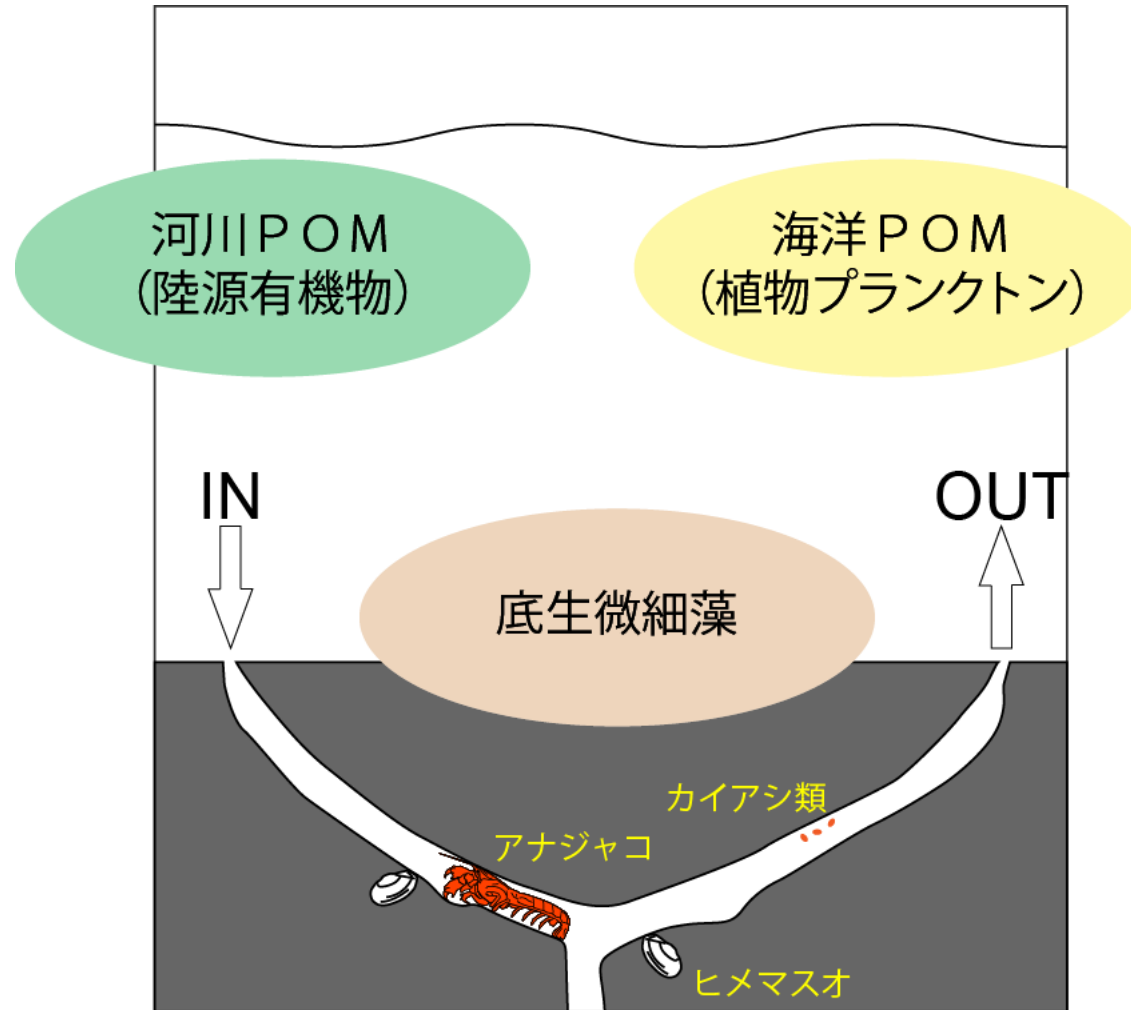
A:アナジャコ(巣穴の主). B:ヒメマスオ(二枚貝). C:小型カイアシ類(オレンジ色の斑点)

各生物が何を食べているかを「安定同位体比」というもので調べました



横軸(炭素同位体比)は栄養源を, 縦軸(窒素同位体比)は栄養段階を表します.

わかったこと: 同じ穴の中に棲んでいても, 食べているものは違う



- ・ヒメマスオの主な餌＝海洋POM(海の濁り)
- ・アナジャコとカイアシ類は, 海洋POMおよび底生微細藻(干潟の表面にいる小さなコケ)がそれぞれ約半分ずつであることが分かった.
- ・また栄養段階については, ヒメマスオが最も低く, その次にアナジャコ, カイアシ類と続くことがわかった.
- ・河川POM(川の水の濁り)はこれらの生物の餌でないことが分かった.